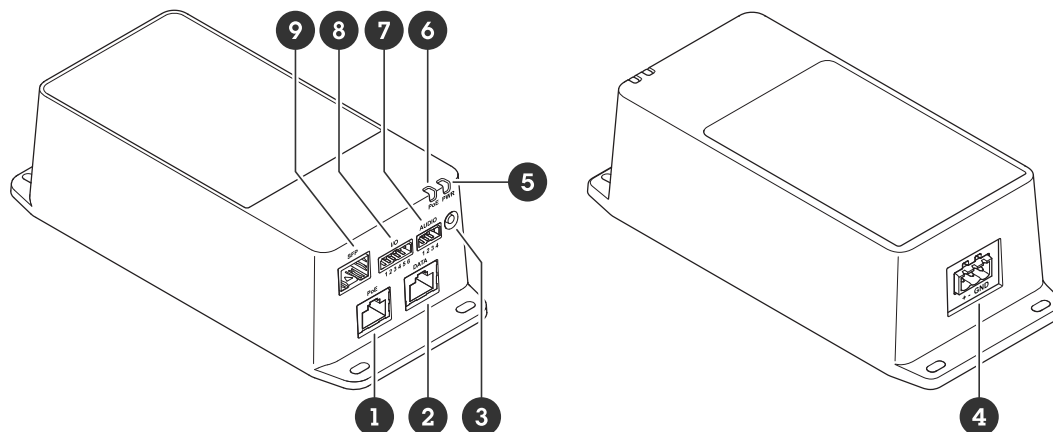


AXIS TU8012 120 W Connectivity Midspan DC

目次

製品概要	3
スマート再起動	3
設定	4
装置について	4
電力要件	4
音声	4
録画に音声を追加する	4
双方向音声通信を許可	5
イベント	5
アクションをトリガーする	5
PIR検知器が動きを検知したときにビデオを録画する	5
トラブルシューティング	7
仕様	8
LEDインジケーター	8
ボタン	8
コントロールボタン	8
コネクタ	9
電源コネクタ	9
ネットワークコネクタ	9
音声コネクタ	9
I/Oコネクタ	9

製品概要



- 1 ネットワークコネクタ-RJ45 (PoE)
- 2 イーサネットRJ45コネクタ (DATA)
- 3 コントロールボタン
- 4 電源コネクタ
- 5 電源LED
- 6 PoE LED
- 7 音声コネクタ
- 8 I/Oコネクタ
- 9 光ファイバーコネクタ (SFP)

スマート再起動

接続ミッドスパンは、接続が確立されると、接続されたデバイスに電力を供給します。

接続されたデバイスは、接続ミッドスパンにキープアライブ信号を送信します。接続ミッドスパンが5分以内に信号を受信しなかった場合、接続ミッドスパンは接続されたデバイスを再起動します。

注

- デバイスが接続ミッドスパンからのキープアライブ信号には引き続き応答しているにもかかわらず、そのデバイスにアクセスできなくなったり、カメラが画像を正しく表示できなくなったりする場合があります。このデバイスは、これらの信号を認識している限り、自動的に再起動することはありません。
- スマート再起動機能に対応する全製品の一覧については、axis.com/products/axis-tu8012-120-w-connectivity-midspan#compatible-products を参照してください。

設定

装置について

サポートされているAxisカメラにミッドスパンを接続すると、音声とI/Oの設定がカメラのWebページに表示されます。

本マニュアルで説明しているすべての設定はカメラのWebページから管理することができます。

電力要件

ミッドスパンの電源入力要件

	24 V	30 V	36 V	42 V	48 V
1.0 A	-	Class 3	Class 3	Class 3	Class 4
1.5 A	Class 3	Class 3	Class 4	Class 4	Class 5
2.0 A	Class 4	Class 4	Class 5	Class 5	Class 6
2.5 A	Class 4	Class 5	Class 6	Class 6	Class 7
3.0 A	Class 5	Class 6	Class 7	Class 7	Class 8
3.5 A	Class 5	Class 6	Class 7	Class 8	120 W
4.0 A	Class 6	Class 7	Class 8	120 W	120 W
4.5 A	Class 7	Class 8	Class 8	120 W	120 W
5.0 A	Class 7	Class 8	120 W	120 W	120 W
5.5 A	Class 8	Class 8	120 W	120 W	120 W
6.0 A	Class 8	120 W	120 W	120 W	120 W
7.0 A	120 W	120 W	120 W	120 W	120 W

Class 3 - PoE IEEE 802.3af、Type 2 Class 3

Class 4 - PoE IEEE 802.3at、Type 2 Class 4

Class 5 - PoE IEEE 802.3bt、Type 3 Class 5

Class 6 - PoE IEEE 802.3bt、Type 3 Class 6

Class 7 - PoE IEEE 802.3bt、Type 3 Class 7

Class 8 - PoE IEEE 802.3bt、Type 4 Class 8

120 W - Axis High PoE 120 W

音声

録画に音声を追加する

音声をオンにする:

1. [Settings > Audio (設定 > 音声)] に移動し、[Allow audio (音声を有効にする)] をオンにします。
2. [Input > Type (入力 > 種類)] に移動し、音声ソースを選択します。

録画に使用するストリームプロファイルを編集します。

3. [Settings > Stream (設定 > ストリーム)] に移動し、[Stream profiles (ストリームプロファイル)] をクリックします。
4. ストリームプロファイルを選択し、[Audio (音声)] をクリックします。

5. チェックボックスを選択し、[Include (対象)] を選択します。
6. [Save (保存)] をクリックします。
7. [閉じる] をクリックします。

双方向音声通信を許可

注

カメラのユーザーインターフェースで双方向音声通信を設定した場合は、ビデオ管理システムを使ってその機能を活用します。

1. 音声入力コネクタにマイクを接続します。
2. 音声出力コネクタにスピーカーを接続します。

以下の手順に従って、カメラのWebページで双方向音声通信を許可します。

1. [Video > Stream > Audio (ビデオ > ストリーム > 音声)] に移動し、音声を対象に含めます。
2. [Audio > Device settings (音声 > 装置の設定)] に移動し、音声通信が許可されていることを確認します。
3. 適切な入力ソースをオンにします。
4. 入力ソースを変更する場合は、[Apply changes (変更を適用する)] をクリックします。
5. [System > Plain config (システム > プレイン設定)] に移動します。
6. [Select group (グループの選択)] を [Audio (音声)] に設定します。
7. [Duplex mode (二重モード)] が [Full duplex (全二重)] に設定されていることを確認します。

イベント

アクションをトリガーする

1. Settings > System > Events (設定 > システム > イベント) に移動し、ルールを設定します。このルールでは、装置が特定のアクションを実行するタイミングを定義します。ルールは、スケジュール、繰り返し、または動体検知によるトリガーなどを利用して設定できます。
2. アクションをトリガーするために満たす必要がある [Condition (条件)] を選択します。ルールに複数の条件を指定した場合は、すべての条件が満たされたときにアクションがトリガーされます。
3. 条件が満たされたときにデバイスが実行する Action (アクション) を選択します。

注

アクティブなルールを変更する場合は、ルールを再起動して変更内容を有効にする必要があります。

PIR検知器が動きを検知したときにビデオを録画する

この例では、Axis PIR検知器を製品に接続し、検知器が動きを検知したときに録画を開始するようにカメラを設定する方法について説明します。

必要なハードウェア

- 3ワイヤーケーブル (アース、電源、I/O)
- Axis PIR検知器

注意

ワイヤーを接続する前に、製品を電源から切り離します。すべての接続が完了した後に電源に再接続します。

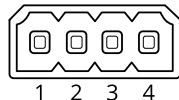
製品のI/Oコネクタに配線を接続します

注

I/Oコネクタについては、コネクタ, on page 9を参照してください。

1. アース線をピン1 (GND/-) に接続します。
2. 電源ワイヤーをピン2 (12 V DC出力) に接続します。
3. I/Oワイヤーをピン3 (I/O入力) に接続します。

PIR検知器のI/Oコネクタに配線を接続します



1. アース線のもう一方の端をピン1 (GND/-) に接続します。
2. 電源ワイヤーのもう一方の端をピン2 (DC入力/+) に接続します。
3. I/Oワイヤーのもう一方の端をピン3 (I/O出力) に接続します。

カメラのWebページでI/Oポートを設定します

1. [Settings > System (設定 > システム)] > [I/O ports (I/Oポート)] の順に移動します。
2. [Port 1 (ポート1)] ドロップダウンリストから [Input (入力)] を選択します。
3. 入力モジュールに分かりやすい名前を付けます。
4. PIR検知器が動きを検知したときに、検知器がカメラに信号を送信するには、ドロップダウンリストから [Closed circuit (閉路)] を選択します。

カメラがPIR検知器から信号を受信したときに、カメラをトリガーして録画を開始するには、カメラのWebページでルールを作成する必要があります。

トラブルシューティング

ミッドスパンの電源が入らない

- 電源ケーブルが正しく接続されていることを確認します。ミッドスパンには、24～48 VDC、最大7.0 Aの電源を供給する必要があります。
- 電源を切断し、その後再投入して、電源投入シーケンス中のインジケータの状態を確認します。
- 電源ケーブルが正常に機能することを確認します。

電源を投入しても装置が動作しない

- 受電側装置がPoEに対応しているかを確認します。
- 入力電力が、受電側装置にとって十分であることを確認してください。
- ミッドスパンと受電側装置間のケーブル長は、推奨される最大長を超えないようにしてください。
- 4つのワイヤーペアを有する標準のカテゴリ5e/6、ストレートケーブルを使用しているかを確認します。
- 受電側装置がPoEポートに接続されていることを確認します。
- 外部パワースプリッタを使用している場合は、正常に動作していることを確認します。
- ツイストペアケーブルまたはRJ45コネクタに短絡 (ショート) がないことを確認します。
- 可能な場合は、同じ受電側装置を別のミッドスパンに再接続します。

端末装置は動作しているが、データリンクが確立されない

- イーサネットRJ45ケーブルを使用している場合は、標準のカテゴリ5e/6、4ペアのストレートケーブルが使用されていることを確認します。
- イーサネットRJ45ケーブルを使用している場合は、ソースから負荷/端末機器までのイーサネットケーブルの長さが100 m (330 ft)を超えていないことを確認します。
- 光ファイバーケーブルを使用している場合は、ケーブルとSFPモジュールが正しいタイプであり、ケーブルが機能していることを確認します。
- 外部パワースプリッタを使用している場合は、正常に動作していることを確認します。
- 可能な場合は、同じ受電側装置を別のミッドスパンに再接続します。

I/O が動作しない

- [System > Plain config > Network (システム > プレイン設定 > ネットワーク)] に移動し、IPv4がオンになっていることを確認してください。

仕様

LEDインジケータ

電源LED

LEDの色	挙動	説明
オフ		電源オフ
赤	点滅	デバイスが起動しています。
緑	塗りつぶし	電源オン

PoE LED

LEDの色	挙動	説明
オフ		装置が接続されていません。
赤	塗りつぶし	リモート装置が接続されているが、PoEネゴシエーションが失敗したか、ポートが過負荷または短絡。
緑	塗りつぶし	リモート装置が接続され、PoEネゴシエーションが成功し、ポートが負荷を供給中。

電源LEDとPoE LED

LEDの色	挙動	説明
赤	点滅	デバイスのセキュリティが侵害されたため、デバイスは使用不能となっています。

ボタン

コントロールボタン

コントロールボタンは、以下の用途で使します。

- 製品を工場出荷時の設定にリセットする。

重要

工場出荷時の設定へのリセットは慎重に行ってください。工場出荷時の設定へのリセットを行うと、IPアドレスを含むすべての設定が工場出荷時の値にリセットされます。

本製品を工場出荷時の設定にリセットするには、以下の手順に従います。

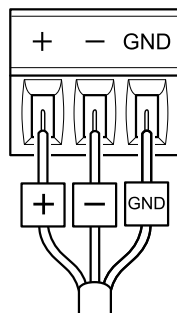
- 本製品の電源を切ります。
- コントロールボタンを押した状態で電源を再接続します。
- ステータスLEDインジケータがオレンジで点滅するまでコントロールボタンを15～30秒間押し続けます。

- ・ コントロールボタンを放します。プロセスが完了すると、ステータスLEDが緑色に変わります。

コネクタ

電源コネクタ

DC電源入力用3ピンターミナルブロック。



ネットワークコネクタ

本製品は、次の複数のネットワークコネクタを付属しています。

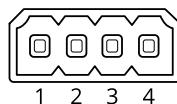
- ・ PoE:High Power over Ethernet (High PoE) 対応RJ45コネクタ
- ・ SFP:SFPモジュールを光ファイバーケーブルで接続するためのSFPコネクタ
- ・ データ:装置をRJ45ケーブルで接続するためのRJ45コネクタ

注

装置をSFPポートまたはデータポートに接続できます。2台の装置を接続 (各ポートに1台の装置を接続) する場合、SFPポートに接続された装置が優先されます。

音声コネクタ

音声入出力用4ピンターミナルブロック。



機能	ピン	メモ
GND	1	アース
12 V	2	外部ソース用12V
ライン入力	3	音声入力
ライン出力端子	4	音声出力

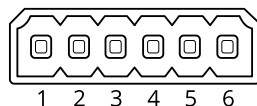
I/Oコネクタ

デジタル入力 - 開回路と閉回路の切り替えが可能な装置 (PIRセンサー、ドア/窓の接触、ガラス破損検知器など) を接続するための入力です。

デジタル出力 - リレーやLEDなどの外部デバイス接続用。接続された装置は、VAPIX®アプリケーションプログラミングインターフェースを通じたイベントまたは製品のWebページからアクティブにすることができます。

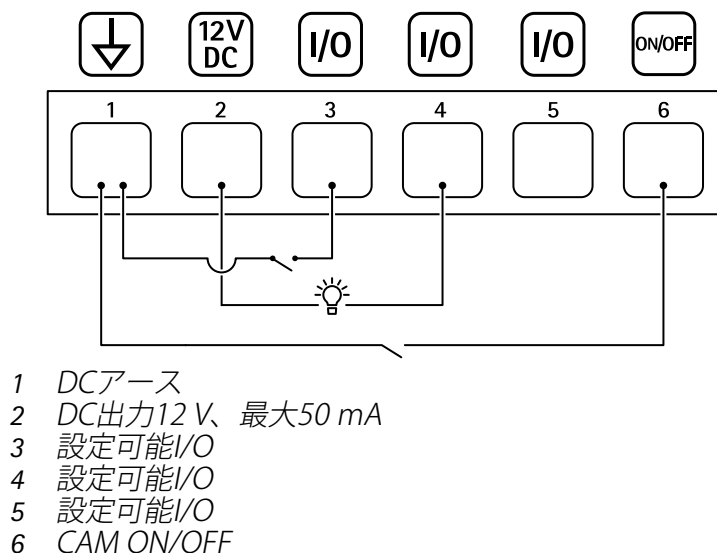
オン/オフ - PoE出力のオン/オフを切り替えます。

6ピンターミナルブロック。



機能	ピン	メモ	仕様
DCアース	1		0 V DC
DC出力	2	補助装置の電源供給に使用できます。 注:このピンは、電源出力としてのみ使用できます。	12 V DC 最大負荷 = 50 mA
設定可能 (入力または出力)	3-5	デジタル入力 - 動作させるにはピン1に接続し、動作させない場合はフロート状態 (未接続) のままにします。	0～最大30 V DC
		デジタル出力 - アクティブ時はピン1 (DCアース) に内部で接続し、非アクティブ時はフロート状態 (未接続) になります。リレーなどの誘導負荷とともに使用する場合は、過渡電圧から保護するために、負荷と並列にダイオードを接続します。	0～最大30 V DC、 オープンドレイン、 100 mA
CAM ON/OFF	6	CAMオン:カメラの電源をオンのままにするには、このピンを7秒以上フローティング (非接続) にします。 CAMオフ:ピン1に7秒以上接続するとカメラの電源がオフになります。	

例:



T10247303_ja

2026-10 (M1.3)

© 2026 Axis Communications AB